寺報 善巧（ぜんぎょう）

発行
〒938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765) 65－0055
FAX (0765) 65－0975
メール info@zengyou.net
URL http://www.zengyou.net

寺ごよみ

十月

- 一日　板屋お講
- 二日　栗虫報恩講
- 六日　魚津報恩講
- 七日・八日　栗虫報恩講
- 九日　経田窪野田家報恩講
- 寺報詰め作業
- 一〇日　清掃奉仕
- 一三日　富山報恩講
- 一四日・一五日　東狐報恩講
- 一六日　三日市お講
- 一八日　報恩講準備
- 一九日・二〇日　報恩講
- 二二日・二三日　上野報恩講
- 二九日・三〇日　板屋報恩講

十月十九、二十日
報恩講

十一月四、五日
空華忌

今年の空華忌は、行信教校より学生方が参拝される年です。どうぞお参りください。

懺悔

「またやってしまった…」そう思った時、皆さんはどうやって反省されていますか？

キリスト教では「懺悔」(仏教ではザンギと読む)、もしくは「告解」というものがあって、聖職者に自分の罪を告白し、神のゆるしを求めます。マザー・テレサという方は、生涯を貧困に苦しむ人たちや死を目の前にした人、身寄りのない子供たちと共に過ごしました。その方がこんな言葉を残しています。

主よ、私は思い込んでいました。私の心が愛にみなぎっていると。でも、心に手を当ててみて、本音に気付かされました。私が愛していたのは他人ではなく、他人の中の自分を愛していた事実に。主よ、私が自分自身から解放されますように。主よ、私は思い込んでいました。私は与えるべきことはなんでも与えていたと。でも、胸に手を当ててみて、真実がわかったのです。私のほうこそ、与えられていたのだということを…

と続きます。菩薩行のような生涯を過ごした方が、このような言葉を残されていることに胸を打たれます。

親鸞聖人は、仏さまの教えを通して、「欲もおほく、いかり、はらだち、そねみ、ねたむこころおほくひまなくして、臨終の一念にいたるまでとどまらず、きえず、たえず…」と言われます。誰かを批判することはたやすいことですが、心から我が身を恥じるということは、そこに救いがなければ苦しいばかりで、気付いたことへの自己陶酔、もしくは開き直るしかないように思います。

深い懺悔というのは、同時に底知れぬ仏さまの救いを物語っています。

善巧寺住職　雪山 俊隆

永代祠堂会
七月十六～十九日

今年の永代祠堂会は、七五〇回大遠忌の記念事業説明会や、参拝者の送迎バス運行などがあり、例年以上に盛りだくさんの内容でした。

ご法話は、初日が住職、二日目は前坊守玲子、三日目からは大阪より若林眞人先生にお話をいただきました。今回夜の法座では、先生お得意の落語を交えてのお話。善巧寺では、久しぶりの高座を用いました。笑いがふんだんに入ったお話に、参拝者方もとても引き込まれ、その上で、浄土真宗の肝要をピシャリとお伝えくださいました。

若林眞人先生

法要中は連日仏教婦人会の方によるバザーが行われ、こちらも大好評。最終日には商品のほとんどがなくなるという盛況ぶりでした。また、教化部によるお寺クイズも、回数を重ねるごとにこなれてきて、司会の鬼原猛さんの進行や仏婦お三方の解答ぶりに参拝者も大喜びでした。

記念事業説明会

法要最終日の十九日午前十時からは、七五〇回大遠忌記念事業の説明会が行われました。何度も会議を重ねてきた実行委員会のメンバーが参拝者の前に並び、今回事業を依頼した酒井匠工務店の五代目にもお越しいただき、それぞれに説明を行いました。質問もいくつか飛び交い、内容の深まる説明会となりました。

お金がかかる問題は、大変難しいことですが、お寺を今後も維持していくためには、目を背けられない事業です。共に痛みを伴いながらも、五百年以上の歴史ある善巧寺をみんなでお守りしていきましょう。

記念事業説明会。実行委員会のメンバー

法要運行バス

ひとりでも多くの方に参拝していただきたいという想いから、総代会の審議を図り、参拝者用のバスを宇奈月、入善、黒部の三台運行しました。慣れないこともあって、乗車の地域差が大きく出ましたが、数十名の方がご利用くださったことは有り難い限りです。今年は永代経のみのお試し運行ですが、来年以降、運行を検討していきます。尚、一部の地域がバスの経由地点から外れたことを深くお詫び申し上げます。今後、よりよい運行を目指しますので、ご意見お待ちしております。

お盆の行事
八月十三日～十六日

善巧寺のお盆は、十三日に若者の集い「青年盆会」、十五日は恒例の「こども盆踊り」、十六日の「お盆参り」があります。

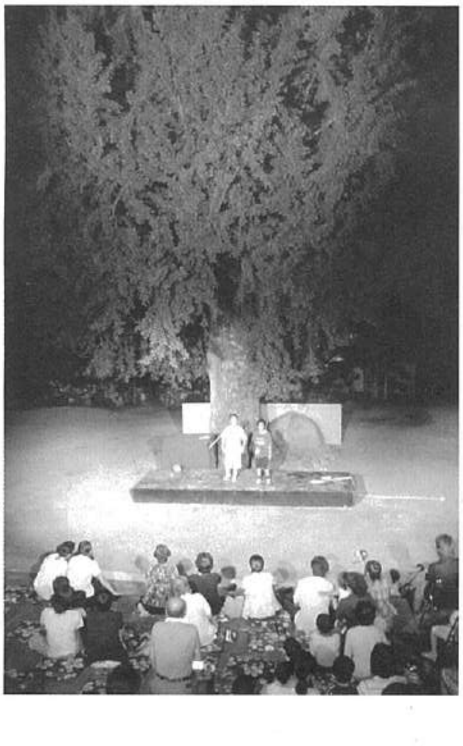
皮切りはお寺にご縁のある青年たち。お勤め、聴聞のあとはお楽しみのバーベキュー。激しい雨の中、世話方が雨具を着て必死で大きなビニールシートを張ってくれたおかげで無事にバーベキューができました。格別の味だったことでしょう。

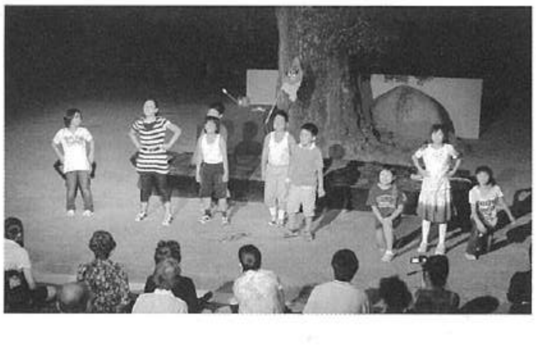
翌々日はこども盆踊り。子供が少ない、世話方がいないなど苦労の多いことですが、やっぱり楽しみにしてくれている子供達の為にがんばろうと有志が集まって、これまた雨の中を境内いっぱいに準備しました。ボール投げやさいころゲームや輪投げに興じる子供達の表情は、目が輝いてそれは楽しそうでした。やってよかった…世話方一同、笑顔をほころばせたことです。

十六日はお盆参り。初盆を迎える方々がお参りくださいました。お別れをしてまだ一年、悲しみは増すばかりと思いますが、亡き方の往かれたお浄土のお話は何かしら心に安らぎを与えてくれます。この悲しみある故に仏様は救おうとしてくださるのでしょう。

雪ん子夏の公演
八月二十三日

お盆は雨の心配ばかりしていましたが、この日は晴れて無事野外公演になりました。日の暮れかかる午後七時、心地よい風を受けて開演です。毎回上演する『うちのとうちゃんえらいんだ』は今回また配役が新しくなって、一年生も役がついています。『原っぱの無人島』は相変わらず浦山弁が大いに受けて、演じる側も上り調子。今回は五年生の男の子が生き生きと演じて、大銀杏を背景にのびやかな舞台を繰り広げてくれました。フィナーレの花火に歓声がわいて夏の終わりを告げました。



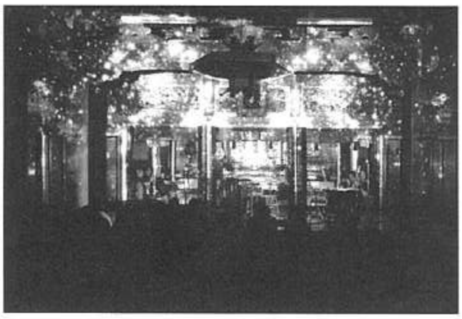


お寺座ライブ　九月十二日

今回で四回目となるお寺の音楽会「お寺座ライブ」。今年は境内や会館で、地元作家の作品展示やフード販売も行われ、二百名ほどの参加者で賑わいました。アンケートよりこんな声が寄せられています。

・目で耳で聞き、不思議な世界に浸り、心がなごみました。

・最後の読経まで一連のショーのようで楽しめました。



・創造世界感と現実感のギャップがとてもおもしろかったと思う。

・最後の読経もよかった。みんな自然と正座になってたし。そうあるべきだよねって感じました。

・様々な発見・感動・驚きなどがあり、とても楽しかったです。

・お寺座といっても単にお寺でライブのみかと思っていたが、お坊さんの説法もあり普段とは違う感覚でいられて良い。

・きよらかな想いでいっぱいです。

・おにぎりとつけものとばあちゃん達もとってもゆるくていやされた。

・説法や読経など工夫して入れておられ、お寺で行われる意味を深く感じられました。

・ライブの間に一口説法があり、というのははじめてで、聞けてよかったと思います。

・お寺と音楽のコラボがここちよい空気をつくりだしていると思います。仏教を身近にかんじました。

・一口説法も初めてきいて、仏教について興味を持ちました。

・これからも毎年やってほしいです。

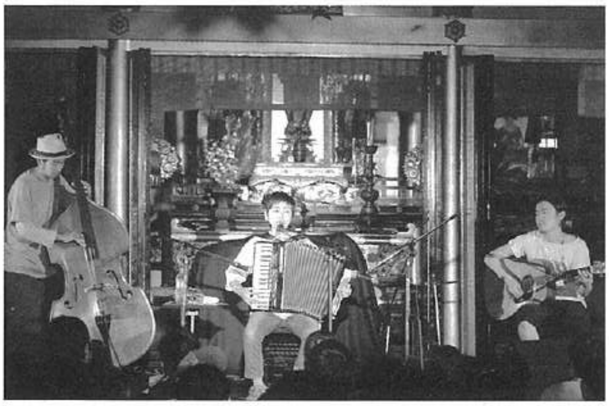
・最後のお経もとてもいい。

・お寺が身近に感じたイベントでした。

・音楽、説法&読経が不思議とマッチ。

・音楽、説法、読経。完全に素晴らしいコンセプトで成り立っています。

・音楽好きな人には法話もお経も「ライブ」として受け止められやすい気がしました。私たちは、お経や法話を聞くチャンネル自体を持っていませんので、こういう機会に聞かせていただけると、ほんとに「ありがたい」です。お経のときなんて、お坊さんが来られるとみんながざざざっと正座を始めて、「うわ、やっぱりみんなそうなんだなぁ」みたいな。すごく自然に、仏さまの話や声を聴いちゃうバックグラウンドって若い人のなかにもまだまだあるんだなぁと実感いたしました。



パークゴルフ大会　七月二日

第一回善巧寺門徒親睦パークゴルフ大会が入善町青野自然公園パークゴルフ場で開催されました。参加者は二十六名。教化部長の鬼原猛さん、鬼原武さんにお世話いただきました。かなりの達人から、全くの初心者までが、楽しく親睦を深めました。優勝は舟見の内島紘之さん。初めての方も十分楽しめて、早速またやりましょうと再会を期していました。

五百名の参拝者！

「滋賀教区仏教婦人会連盟・聞法の旅」のご一行様が七月八～十日の三日間、百五十名余ずつ合計五百名近い方がご参拝になりました。お迎えは連日仏婦役員さんなどにお手伝いいただきました。迎える側も感動して雨にぬれながら最後まで手を振ってお別れを惜しんでいました。

本願寺展
世界遺産の歴史と至宝

この展覧会は宗祖・親鸞聖人七五〇回大遠忌をひかえた記念事業の一環として開催され、親鸞聖人と歴代門主の肖像や絵巻物、浄土真宗の教えを記した典籍類をはじめ、国宝「三十六人家集」に代表される雅やかな古筆、堂宇・書院の壮麗な障壁画等、国宝五件、重要文化財二十六件を含む約百五十件で構成されます。

この機会に是非ともご鑑賞ください。

会　場　石川県立歴史博物館

会　期　九月十九日〜十一月三日

開館時間　午前九時〜午後五時

入場料　当日料金　一般千円、大学生九百円

主　催　石川県立歴史博物館、浄土真宗本願寺派、朝日新聞社、北國新聞社

寺こよみ　十一月

- 一日　愛本新お講
- 三日　空華忌準備
- 四日　飯野・芦崎報恩講、夜、空華忌
- 五日　空華忌
- 七日　中新報恩講
- 十一日〜十二日　石田報恩講
- 十三日〜十四日　栃沢報恩講
- 十六日　浦山新お講、午後映画上映
- 十七日〜十八日　栃沢報恩講
- 二〇日　出報恩講
- 二三日　雪ん子劇団南砺市公演
- 二四日　中陣報恩講
- 二五日〜二六日　浦山新報恩講
- 二七日　中陣報恩講
- 三〇日　浦山新報恩講

寺こよみ　十二月

- 一日　下立愛本お講、大橋報恩講
- 二日　愛本・愛本新報恩講
- 四日〜五日　愛本新報恩講
- 五日　越冬清掃奉仕
- 七日〜八日　下村報恩講
- 一〇日〜一一日　下村報恩講
- 一二日　下立愛本報恩講
- 一三日　仏婦・十周年記念総会
- 一四日　下立愛本報恩講
- 一六日　浦山お講
- 一七日　下立愛本報恩講
- 一八日〜一九日　内山報恩講
- 二一日〜二四日　音沢報恩講
- 二七日　雪ん子劇団三〇周年公演
- 二九日　米とぎ
- 三〇日　もちつき大会

お寺の大スクリーンで映画上映

10月16日午後１時

今年の春から、毎月16日お講の午後を活用して、本堂で映画上映を行っています。初回は「おくりびと」を上映しました。今まで顔出したことないけど…、とおっしゃる方も、どうぞ気兼ねなくご参加ください。お孫さんとご一緒も大歓迎です。次回は10月16日午後１時です。

10月の上映作品は「ブタがいた教室」。1990年に大阪の小学校で実際に行われたいのちの授業を映画化した作品で、賛否両論を巻き起こした話題作。新米教師の星先生は、ある大胆な授業を計画。それは、ブタを飼って大きくなったらみんなで食べようと。生徒たちに生きているものを食べるという意味を考えさせるという目的で、子ブタを飼い始めた…。東京国際映画祭W受賞の作品を、お寺の大スクリーンで鑑賞しましょう。

報恩講

報恩講とは親鸞聖人のご法事です。浄土真宗門徒としては欠かせない行事とお受け取りください。

十月十九日　午後一時半　お逮夜

二十日　午後七時　お初夜

午前十時　お日中

午後一時半　ご満座

「阿弥陀経をいただいて」

発願寺住職　川崎順正　師

空華忌

善巧寺十一代明教院僧鎔法師のご法事です。今年は行信教校より学生方が参拝されます。

十一月四日　午後七時　お初夜

五日　午前十時　お日中

午後一時　ご満座

「他力本願のおこころ」

大阪常見寺住職
行信教校校長　利井唯明　師

報恩講法要準備

十月九日　午後一時半
　寺報詰め作業
十日　午前八時半
　清掃奉仕
十七日　午前八時半
　米とぎ
十八日　午前八時半
　お華束・お磨き・掃除等

空華忌準備

十一月三日　午前八時半

越冬清掃奉仕

十二月五日　午前八時半

もちつき大会

十二月三十日　午前十時

本山参拝旅行

平成二十二年一月
　十一～十二日

一月に四日間勤まる御正忌報恩講を、今回は前二日を本山参拝にあてます。年に一度は本山へ。別紙をご覧ください。

雪ん子劇団三十周年記念公演

日時…十二月二十七日（日）
　午後一時半
会場…宇奈月国際会館セレネ
入場料…五百円

新年の過ごし方

皆さん、新年はどのような過ごし方をされているでしょうか。お寺では、毎年一月一日午前零時より除夜の鐘を鳴らしています。お近くの方は、一年の節目としてどうぞご参加ください。

一日の午前八時頃からは年頭参りとして、百人以上の方が入れ替わり立ち替わりご参拝されます。これは、先祖代々受け継がれているものですが、地域や家庭の状況によって、ご存じでない方も多くおられます。お寺の集会所にはおでんを用意してお待ちしておりますので、年頭は、まず仏さまにご挨拶をして心新たに新年を迎えましょう。

合掌

今年度のほんこさんが先月から始まりました。七五〇回大遠忌法要記念事業懇志を早速出してくださる方、有り難うございます。不景気な昨今、大変無理なお願いにもかかわらず、お寺を護ろうというお志をひしひしと感じています。

＊　＊　＊

お盆・雪ん子劇団公演と行事が目白押しの夏でしたが、その間辛いお別れがありました。坊守命子の父が闘病の末六十一歳の命を終えて八月二十日往生されました。住職と副住職がお葬儀に駆けつけました。また前々坊守喜子の従弟のお寺八尾聞名寺の後継住職が四十一歳の若さでこれまた病のため往生。幼い子を連れた僧衣姿の若い坊守さんの姿が身につまされました。お浄土でまたおあいしましょう。

子や孫に是非一声を！　善巧寺ホームページ　http://www.zengyou.net